

令和8年度 佐賀市立東与賀中学校 教育課程

1 学校教育目標

「凜」とした元気・感動・温もりのある学校 ～ 夢実現に挑戦し努力する生徒の育成～

2 本年度の重点目標

- ①『学び合い』の視点を取り入れた、確かな学力の育成
- ②「考え、議論する」ことにより道徳性や豊かな心を育む
- ③『学び合い』や開発的生徒指導を通して、主体性を育む

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

- ・『学び合い』を柱に、児童生徒が互いに教え合い、支え合いながら学ぶ授業を推進する。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を行い、「自律・尊重・創造」を育む。
- ・Web-QUや学習ログを活用し、生徒の実態をもとにした個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進する。
- ・デジタル教科書・AIDリル等を活用し、学びの質と自己調整力を高める。
- ・単元を貫く見通しを共有し、生徒が自分の学びを振り返り、次につなげる指導を工夫する。

(2)生徒指導の充実

- ・「出番・役割・承認」のスパイラルを意識した学校生活づくりにより、自己肯定感と当事者意識を高める。
- ・『いのち』と『人権』を大切にす教育を基盤に、温かな人間関係づくりを進める。
- ・いじめ防止や不登校支援においては、グループローラー作戦を継続し、チームによる支援を充実させる。
- ・生徒会活動や係活動を通して、合意形成や責任をもって行動する力を育てる。

(3)特別支援教育の充実

- ・インクルーシブ教育の理念に基づき、障がいの有無にかかわらず共に学ぶ教育を推進する。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心に、校内支援体制を強化する。
- ・児童生徒一人一人の実態に応じた合理的配慮を提供し、自立と社会参加を支援する。
- ・関係機関・保護者と連携を図り、切れ目のない支援を実施する。

(4)その他の重点取組

- ・幼保小・小中連携を通して、学びと生活の接続を重視した教育を展開する。
- ・地域や家庭と協働し、コミュニティ・スクールを核とした”共育”の体制を充実させる。
- ・ICT活用を通して情報活用能力・情報モラルを高め、学習意欲の向上を図る。
- ・外国語教育では、ALTやオンライン英会話を活用し、表現力と国際理解を深める。
- ・総合的な学習の時間では、ふるさと東与賀を題材とした探究活動を通して地域との共学を進める。

(5)教職員の資質向上と学校経営

- ・教育課程の編成・実施・評価の循環を重視し、カリキュラム・マネジメントを推進する。
- ・校内研修を『学び合い』の文化として位置付け、教職員の協働的成長を図る。
- ・教職員のwell-beingを意識し、働きやすく学びやすい学校づくりを進める。